

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名 (Family Care Support), 事業区分 (New/Continued/Single/Supplemental), 担当 (Responsible), 政策体系 (Policy Framework), 予算科目 (Budget Item), and 法令根拠 (Legal Basis).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Overview of the business) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks, methods, and procedures).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (Methods), ②対象 (Targets), ③意図 (Intentions), and ④-⑥各指標 (Indicators 4-6) with data for 29, 30, 01, 02, 03 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (costs) for 29, 30, 01 years, categorized by source (National, Prefecture, Local, etc.) and personnel.

30年度事業費実績 (千円)

Table comparing 30年度実績 (Actual 30th year) and 01年度予算 (01st year budget) for 13 categories, including 委託料 (Commission).

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 01, 02, and 03 years, including a list of main activities like 市長マニフェスト (Mayor's Manifesto).

事務事業名	家族介護支援事業	事務事業No.	10602000025	所属課	高齢福祉課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 大和地区で合併前から家族介護者交流事業を実施していた。介護者の精神的負担を軽減するために市全体に広げて実施するのが望ましいという判断から、市内全域を対象に実施した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 自分だけでなく介護をしている人は同じ悩みを持っていることわかり勇気づけられた。介護から解放され、介護者同士の時間を持つことができよかった。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 家族介護者交流会で在宅介護者の身体的・精神的負担を軽減することは、在宅福祉の進展に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 在宅介護者を支援し身体的・精神的負担を軽減することは、在宅介護が継続できる在宅福祉の向上に結びつく。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 多くの家族介護者に参加してもらうため、事業内容の検討やPRを工夫することにより、成果を向上する余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 在宅介護者の交流の場がなく、身体的・精神的な負担が重くなり、安心して在宅介護生活を送ることが困難になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他の類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費が必要経費のみであり、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の在宅高齢者を介護している家族を対象としているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	要綱改正で趣旨と参加条件を見直したことで、新たに5回のイベントを企画した。参加者が増え、参加者アンケートでの満足度は高い結果となった。その一方で、実際には介護者生活に余裕のない方がいると思うので、その方々の支援策を加味することが今後の課題である。																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 どうやって介護者からのニーズを調査するか、そしてそのニーズに対応する手段を検討する必要がある。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×		低下			×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下			×																			
(6) 事務事業優先度評価結果																							
成果優先度評価結果 ②																							
コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>